

## 令和5年度 かねて支援学校 働き方改革推進計画

### 1 令和5年度本校での「学校における働き方改革」による重点的な取り組みについて

#### ■勤務時間管理

- (1) 最終退校時間19:30を目指し、遅くも20:00 完全退校とする
- (2) 完全定時退庁日を月2回設定し、退校時間を18時とする  
設定された完全定時退庁日に退校できない場合は別日を設ける等、柔軟に対応する
- (3) 定時より早く出勤した場合は、その分早く退勤することができる  
ただし、授業時間や会議等がある場合は対象外とする
- (4) 土日・休日勤務縮減。
- (5) 勤務時間外在校等時間数を、月80時間を超える教職員をゼロにする。
- (5) 長期休業中の一定の閉庁日を設定する。
- (6) 長期休業中については、9:00~15:00までの時短勤務を推奨し、エネルギー充填に努める
- (7) 年次有給休暇、特別休暇の管理

#### ■業務の精選・効率化・明確化

- (1) 分掌・委員会の活動計画と活動報告の作成
  - 会議運営の効率化
    - ・会議内容の焦点化
    - ・資料の事前配布 + 会議は質疑応答・協議（会議時間の縮小）
    - ・会議は目標30分、長くても60分以内を目指す
  - 日々の業務でその都度共通確認をしていく
  - ICT機器による情報を共有、作業の効率化
  - 他学部、他分掌との連携
  - レポート内容の簡略化（初任研）
- (2) 管理職による分掌統合や文書作成の簡略化等による教員の負担軽減

#### ■PTA・地域・関連諸団体との連携

- (1) 地域ボランティアの活用

#### ■部活動運営の適正化・部活動指導の負担軽減

- (1) 部活動指導の整理・合理化